

「地域中核・特色ある研究大学強化促進事業（J-PEAKS）」関連トピックスを
月イチでお届けするニュースレター2026
March
3

新潟大学J-PEAKS NOW Vol.5

FEATURE

4月1日公募開始に向けて必見！
戦略的飛躍プログラム（SLP）公募説明動画を学内限定公開しました

既報のとおり、新潟大学ではこの4月に、J-PEAKS資金を活用した全学対象の公募事業「戦略的飛躍プログラム（Strategic Leap Program: SLP）」を開始いたします。この度、より多くの皆さまに応募を検討いただけるよう、SLPの背景や公募概要をわかりやすくまとめた解説動画を学内限定で公開いたしました。

動画では、J-PEAKSとはそもそも何を指す事業なのか、新潟大学がどのような未来を描いているのか、SLPが求めるものは何かについて、担当理事と担当UAがサクッと20分で解説しています。

まずは動画をご覧ください、SLPのねらいと公募の全体像をつかんでいただければ幸いです。本ニュースレターでは公募のポイントをご紹介します。



✓ SLPは、コアステージ（R8～9年度）と
飛躍ステージ（R10～11年度）の2ステージ

採択件数

今回募集するのは、**コアステージ25件程度**です。

審査方式

応募者の負担軽減&迅速な審査を実現するため、**事前申請**と、これを通過した課題を対象とする**本申請**の二段階審査により選考します。**提出書類は必要最小限**です。

スケジュール

- ・事前申請：4月1日（水）～5月14日（木）17:00締切
- ・事前審査結果通知：6月下旬
- ・本申請：7月1日（水）～30日（木）17:00締切
- ・本審査結果通知・助成開始：9月上旬

✓ 3つの要件をすべて満たす研究課題を
求めています

- ① “脳といのち” “食と健康” のいずれか、または両方に関連したチーム型研究であり、飛躍ステージへの発展を見据えたスタートアップとして、体制整備や研究プロジェクトの立ち上げに資すること。
- ② SLP資金による大型外部資金の獲得も含めた発展的展開の見通しが示されていること。
- ③ J-PEAKS新施設、連携機関、共用機器等と有機的に連動（連携・活用）していること。

学内限定

詳しくはこちらのフォルダをご覧ください！

<https://app.cais.niigata-u.ac.jp/shurl/fw/ZYBMRV>

区分	施設・機器名	(連携機関)
J-PEAKS 新施設	ひと脳研究資源イニシアチブ推進センター（R8.4設置予定）	東北大学、量子科学技術研究開発機構、オーフス大学、インド理科大学院大学
	AIビッグデータサイエンス統合研究拠点（R8秋ごろ設定予定）	中部大学、シェルブルック大学
	ELSI連携センター（ELSIセンター）	大阪大学
	フード&ヘルスイノベーション共創センター（R8.1設置）	宮城大学、ポルドー大学（連携窓口：日本酒学センター）
	コメと環境の国際イノベーション共創センター（R8.4設置予定）	カンター大学
J-PEAKS 主要共用機器	超高深度・超ハイスループット質量分析システム（旭町・共同研究棟3階） など （近日対象機器リストを公開予定）	
既存実地型 施設	佐渡自然共生科学センター（演習林／朱鷺・自然再生学研究施設／臨海実験所）	
	農学部附属フィールド科学教育研究センター（村松／新通）	
	附属学校部	

これらの施設等を活用して研究の次元を上げ
次の成果を創出!!

※公募の詳細は変更となる場合があります。最新情報は新潟大学J-PEAKS・HP等でご確認ください。

LAUNCH

食と健康の未来を拓く新拠点「フード&ヘルスイノベーション共創センター」始動!!

2026年1月1日付で、「フード&ヘルスイノベーション共創センター (Food & Health Innovation Center: FHI)」が、全学共同教育研究組織*として設置されました。

FHIは、本学J-PEAKSの重点領域の一つ“食と健康”領域における研究・教育・社会共創の中核組織です。

これまで本学が産学官連携・分野横断で積み重ねてきた食関連分野での技術革新と社会貢献の実績を発展させ、食と健康に関する新たな価値創出を目指します。

*大学が一体となって特定の重要な教育研究活動を強化し、社会のニーズに対応した人材育成や知の創造を目指すための戦略的な組織。



✓ 先端研究・地域協働・人材育成 + 戦略室が一体で挑む

<先端研究の推進と国際共創を推進>

先端研究部門

食と健康分野の先端的・学際的研究を推進し、世界トップレベルの研究成果の創出を推進。

<地域協働研究と産業創生を推進>

地域協働研究部門

食と健康分野の産学官連携を通じて研究成果を社会に実装し、地域産業の発展と新産業の創出を推進。

<次世代人材育成と社会変革の牽引>

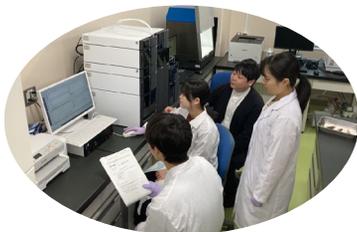
地域人材育成部門

食と健康分野のリテラシーを向上させるとともに、地域産業の未来を牽引する次世代のリーダーの育成を推進。

<国内外トップ機関との連携強化>

共同運用ラボ

国内外の連携機関と共同運用ラボを整備。研究者のクロスアポイント等を通じて先端的知見を共有し、研究成果の創出を推進。



<事業としてのセンター経営の司令塔>

戦略室

UAが司令塔となり、センターの事業戦略を策定し、産学官連携、資金獲得、渉外等を一体で推進し、成果の最大化を牽引。

✓ 第一弾プロジェクト **にいがた 2 km おいしさDX 産学官共創プロジェクト**

(内閣府「地方大学・地域産業創生交付金事業」採択)

新潟の食産業を“データで強くする”実装型の挑戦。



新潟の食品の“おいしさ”を見る化し、食品特化AIで商品改良・新商品開発を加速。大学・行政・企業が一体となって目標の実現を推進し、産業を創り、人材を育て、稼ぐ力と雇用を生み出します。

- ・ [フード&ヘルスイノベーション共創センターWebサイト](#)もぜひご覧ください！
- ・ [新潟大学ウェブマガジンEvergreen](#)に[特集記事](#)掲載中！



● J-PEAKSプチコラムー現場からのひとこと便り ●

おいしさDXのプロジェクトが動き始めて、あらためて感じているのは、研究・社会実装・人材育成が、現場の中で連続して進んでいくということです。現場の課題や着想が研究の問いを具体化し、研究で得られた知見は企業や地域での実践を通じて磨かれ、次の課題や新たな取組へとつながっていく。その循環を支えているのは、新潟の食産業の現場の人々が積み重ねてこられた確かな技術と豊かな感性です。プロジェクトでも、その蓄積に学びながら、「おいしい」と「たのしい」の両方が息づく地域の未来を、大学・地域・企業と一緒につっていきたくて考えています。【KK】

● お問い合わせ・ウェブサイト ●

○お問い合わせ：新潟大学 研究企画推進部 研究推進課

TEL: 025-262-7174

MAIL: kenkyukyoten@adm.niigata-u.ac.jp

○新潟大学J-PEAKS ウェブサイト

<https://www.niigata-u.ac.jp/j-peaks/>

本学J-PEAKS関連のイベント情報や活動状況をご確認いただけます。



○新潟大学J-PEAKS 学内者向けページ

<https://app.cais.niigata-u.ac.jp/shurl/fw/2PLWiy>

全学への迅速な情報共有および事業運営の透明性を図るため、予算配分を含むグランドデザインや会議資料等を、常時学内限定公開しています。よりも詳しい情報をご覧になりたい場合は、こちらにアクセス願います。

